組立・設置説明書

2022.8

# TOTO

# トールキャビネット・ウォールキャビネット

## LTSLA015・025・030・045型
## LWLA015・025・030・045型

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

## 1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 🛇 | この記号は、してはいけない「禁止」内容です。 | ❗ | この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

### ⚠ 警告

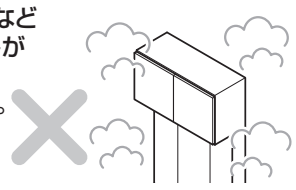
禁止

**取付ねじをカラまわり(空転)させない**

禁止

**浴室など湿気の多い場所へ設置しない**

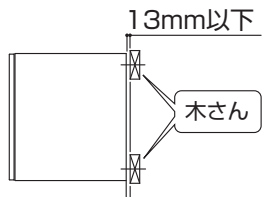
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。



必ず実行

**壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**

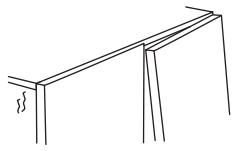
キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。




必ず実行

**取り付け後、全てのねじが確実に固定されていること、扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**

使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

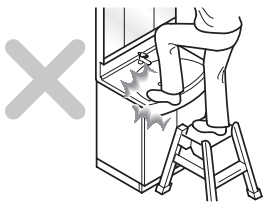


### ⚠ 注意

禁止

**洗面ボウルの上にのらない**

故障及び転落・転倒してけがをするおそれがあります。



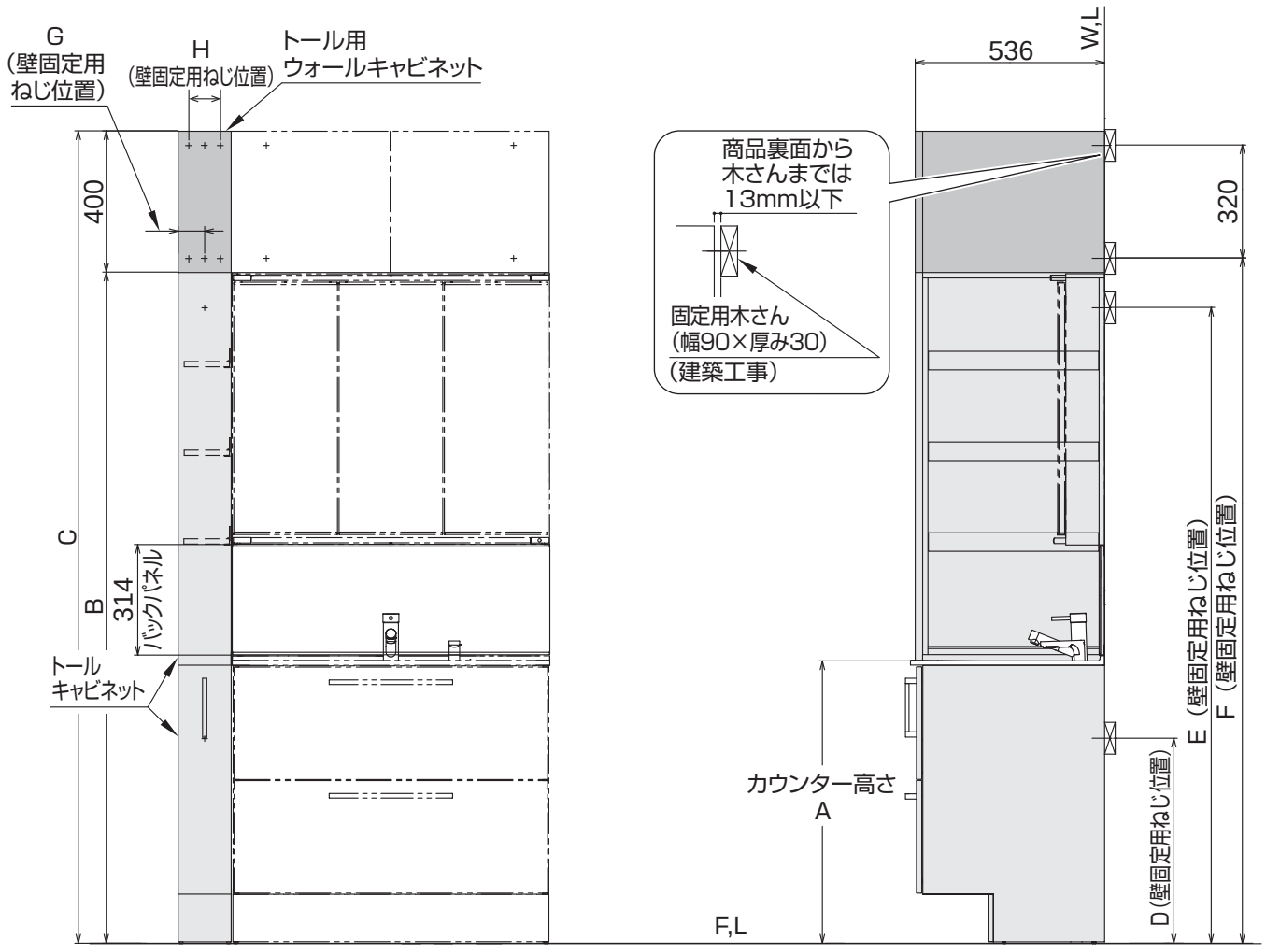
## 2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

| カウンター高さ A | 商品高さ B | 商品高さ C | 壁固定位置 D | 壁固定位置 E | 壁固定位置 F |
|---|---|---|---|---|---|
| 750 | 1850 | 2250 | 530 | 1750 | 1890 |
| 800 | 1900 | 2300 | 580 | 1800 | 1940 |

| キャビネット間口寸法 | G |
|---|---|
| 150 | 75 |

| キャビネット間口寸法 | H |
|---|---|
| 250 | 130 |
| 300 | 180 |
| 450 | 330 |




## 3) 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。

**重要**

**天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。**

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

## 4) 取り付け条件

- キャビネットを取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上／本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

# 5) 付属部品明細

## 【トールキャビネット付属部品明細】

| 名称 | | フロア部 | | | | | ミドル部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 壁固定用ねじ（φ5.2×55） | 連結用ねじ※1（φ3.9×28） | 化粧キャップ | パッキン（10×10） | すき間パッキン（2×10） | 壁固定用ねじ（φ5.2×55） | 連結用ねじ※1（φ3.9×28） | 化粧キャップ | 穴ふさぎ用※2化粧キャップ |
| 数量 | 150サイズ | 1本 | 2本 | 3個 | − | − | 1本 | − | 1個 | 4個 |
| 数量 | 250·300·450サイズ | 2本 | 2本 | 4個 | 1個 | 1個 | 2本 | 2本 | 4個 | − |

## 【ウォールキャビネット付属部品明細】

| 名称 | | 壁固定用ねじ（φ5.2×55） | 連結用ねじ※1（φ3.9×28） | 化粧キャップ | パッキン（厚み2mm） |
|---|---|---|---|---|---|
| 数量 | 150サイズ | 2本 | 3本 | 5個 | 1個 |
| 数量 | 250·300·450サイズ | 4本 | 4本 | 8個 | 1個 |

※1: 隣接キャビネットがない場合は、使用しません。
※2: 壁、もしくは隣接するキャビネットがある場合は使用しません。

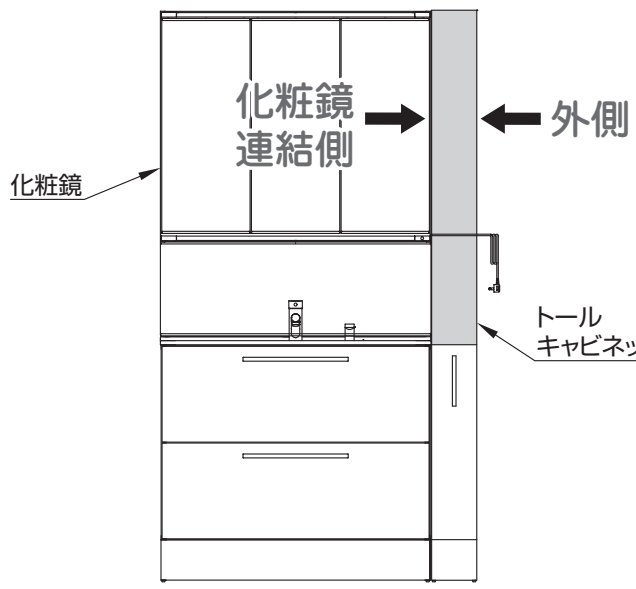
## 【トールキャビネットセット品番明細】

| セット品番 | ミドルキャビ | フロアキャビ |
|---|---|---|
| LTSLA015ANL型 | LLLA015GNL型 | LBLA015ANG型 |
| LTSLA015ANR型 | LLLA015GNR型 | |
| LTSLA015BNL型 | LLLA015GNL型 | LBLA015BNG型 |
| LTSLA015BNR型 | LLLA015GNR型 | |
| LTSLA025AGL型 | LLLA025GNL型 | LBLA025ANL型 |
| LTSLA025AGR型 | LLLA025GNR型 | LBLA025ANR型 |
| LTSLA025BGL型 | LLLA025GNL型 | LBLA025BNL型 |
| LTSLA025BGR型 | LLLA025GNR型 | LBLA025BNR型 |
| LTSLA025ANL型 | LLLA025GNL型 | LBLA025ANG型 |
| LTSLA025ANR型 | LLLA025GNR型 | |
| LTSLA025BNL型 | LLLA025GNL型 | LBLA025BNG型 |
| LTSLA025BNR型 | LLLA025GNR型 | |
| LTSLA030AGL型 | LLLA030GNL型 | LBLA030ANL型 |
| LTSLA030AGR型 | LLLA030GNR型 | LBLA030ANR型 |
| LTSLA030BGL型 | LLLA030GNL型 | LBLA030BNL型 |
| LTSLA030BGR型 | LLLA030GNR型 | LBLA030BNR型 |
| LTSLA030ANL型 | LLLA030GNL型 | LBLA030ANG型 |
| LTSLA030ANR型 | LLLA030GNR型 | |
| LTSLA030BNL型 | LLLA030GNL型 | LBLA030BNG型 |
| LTSLA030BNR型 | LLLA030GNR型 | |
| LTSLA030AGL型 | LLLA045GNL型 | LBLA045ANL型 |
| LTSLA045AGR型 | LLLA045GNR型 | LBLA045ANR型 |
| LTSLA045BGL型 | LLLA045GNL型 | LBLA045BNL型 |
| LTSLA045BGR型 | LLLA045GNR型 | LBLA045BNR型 |
| LTSLA045ANL型 | LLLA045GNL型 | LBLA045ANG型 |
| LTSLA045ANR型 | LLLA045GNR型 | |
| LTSLA045BNL型 | LLLA045GNL型 | LBLA045BNG型 |
| LTSLA045BNR型 | LLLA045GNR型 | |

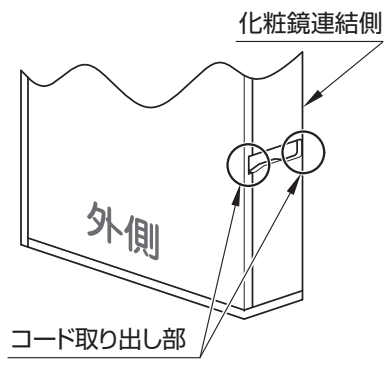
# 6) トールキャビネットの取り付け（番号順に取り付けてください。）

## 1 電源コードの取り出し

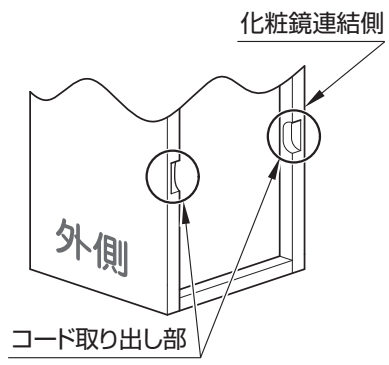
- トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、トールキャビネットの裏面を化粧鏡のコード取り出し位置に合わせ、⊖ドライバーで化粧板側（外側）から突き破ってください。




### 〈150 サイズの場合〉

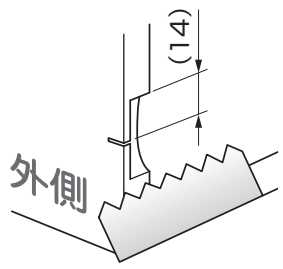



### 〈250～450 サイズの場合〉

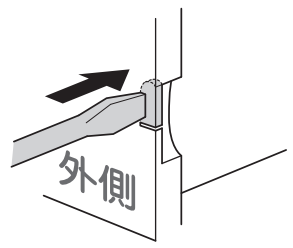



### 〈外側〉

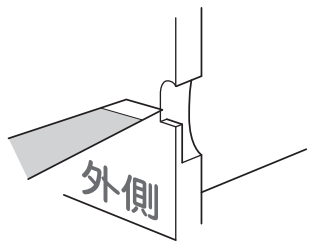
（1）切り欠き部に合わせ、のこぎりで切り込みをいれる
※外側は電源コードに合わせて切り欠いてください。




（2）切り欠き部の上側を⊖ドライバーで化粧板側（外側）から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。

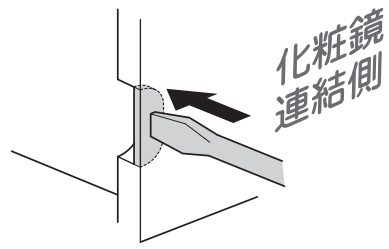



（3）突き破った部分をナイフで仕上げる

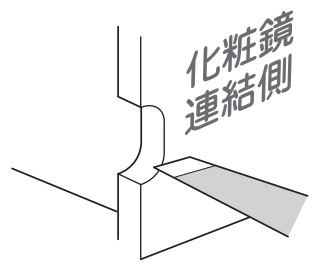



### 〈化粧鏡連結側〉

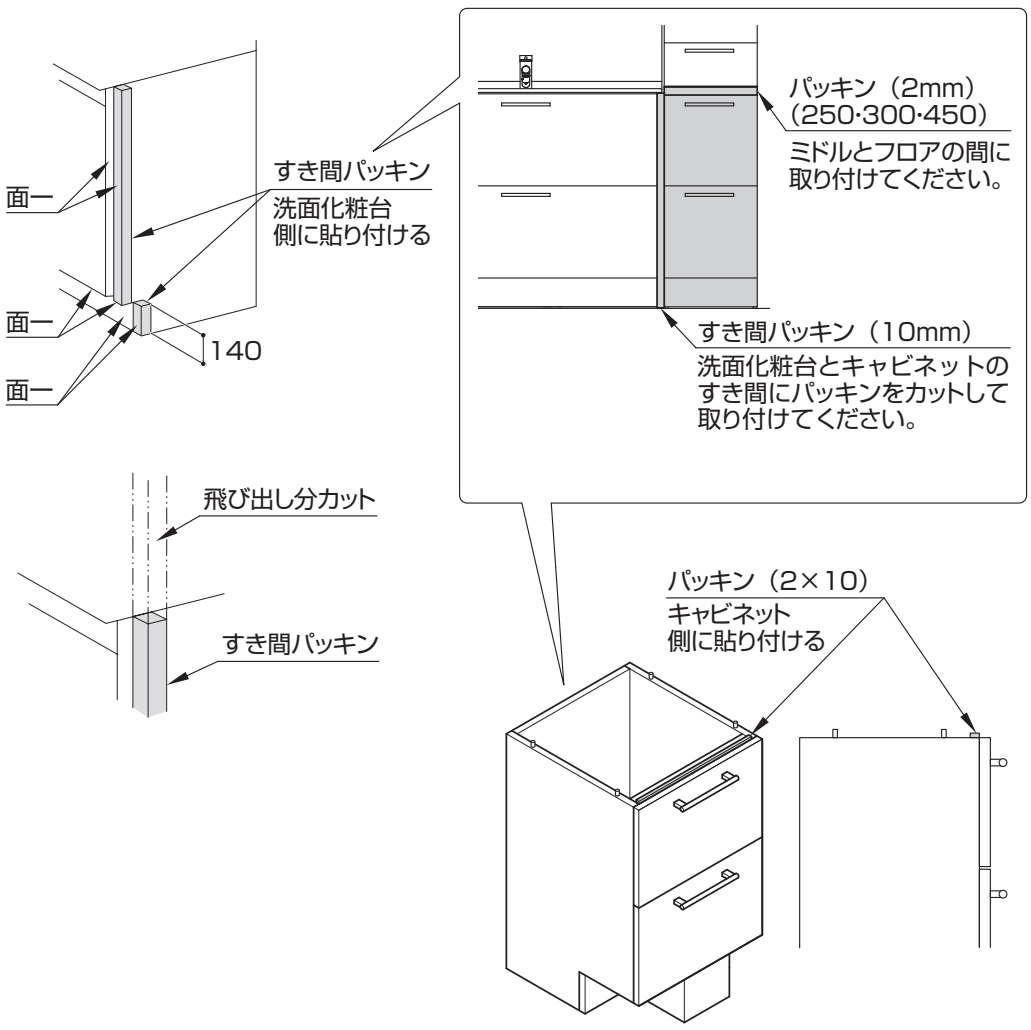
（1）切り欠き部を⊖ドライバーで化粧板側（化粧鏡連結側）から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。




（2）突き破った部分をナイフで仕上げる



## 2 パッキンの取り付け



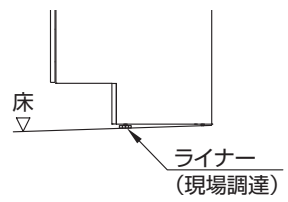

## 3 キャビネットの扉・引き出しを外す

- 外した扉・引出しは傷がつかないように養生等をして保管ください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。

（扉・引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、8）取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。）

## 4 キャビネットの仮置き・水平確認

- キャビネットを設置位置に仮置きする。
  床の水平が出ていない場合は、ライナー（現場調達）を入れて調整する。
- ライナー（現場調達）で調整する前に、転倒防止の包装材を取り外してください。



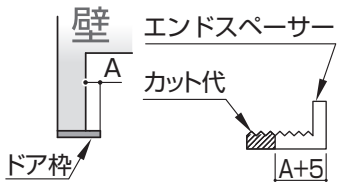

## 5 エンドスペーサーの取り付け（別売品）

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
  （トールキャビネット用エンドスペーサー…LELA040GTT*D/G）

（1）寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。
※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

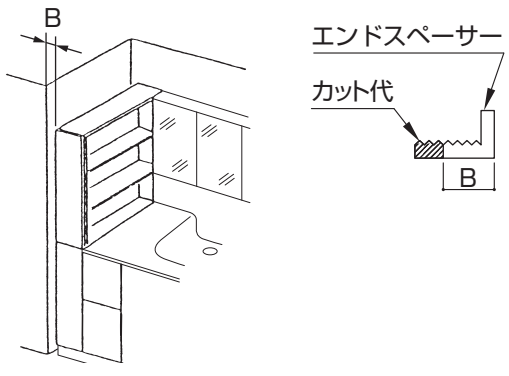
### 〈ドア枠がある場合〉

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを（A+5）mmにカットしてください。

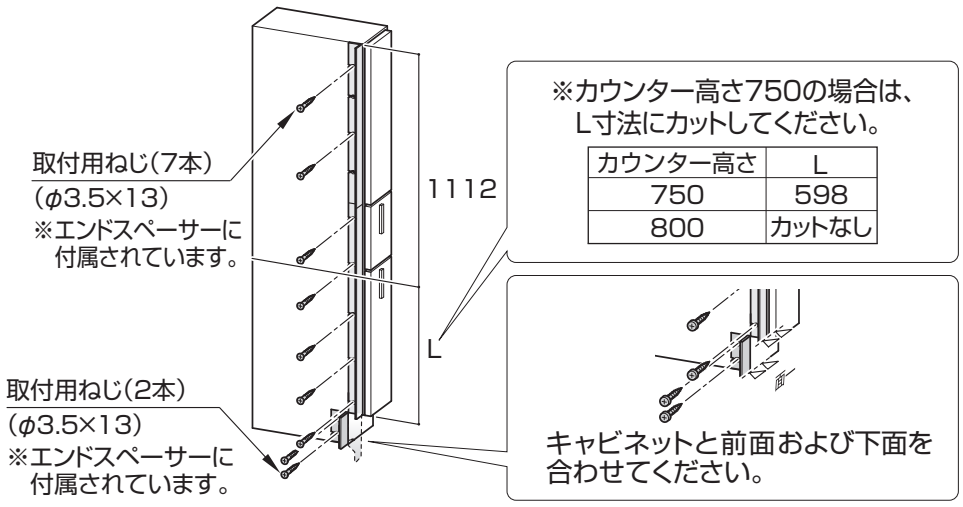



### 〈すき間がある場合〉

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮り置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮り置きしたキャビネットを取り外してください。



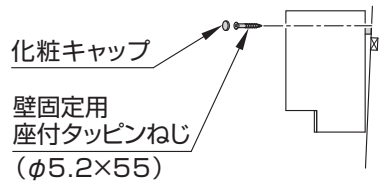

〈L寸法〉




（2）キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
（3）けがき位置に下穴（φ2.5×5）をあけてください。
（4）エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。
　その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
（5）エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

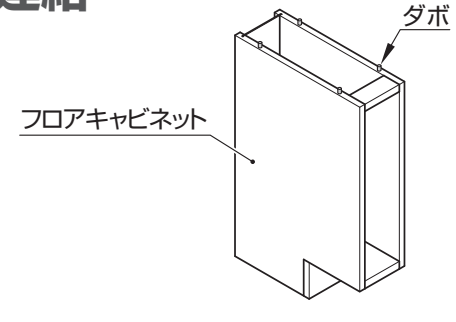
## 6 フロアキャビネットの取り付け

- フロア部を付属の壁固定用座付タッピンねじ（Φ5.2×55）で固定する。
  ※壁不陸がある場合、ライナー（現場調達）を入れて垂直に固定してください。



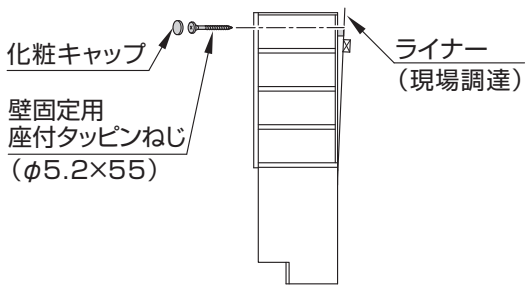

## 7 ミドルキャビネットの連結

- フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせて、セットしてください。



## 8 ミドルキャビネットの取り付け

- ミドル部を付属の壁固定用座付タッピンねじ(φ5.2×55)で固定する。
  ※壁不陸がある場合、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。



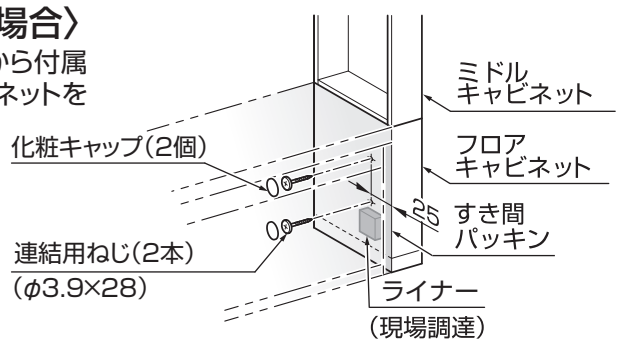

## 9 キャビネットの連結(隣接するキャビネットがある場合)

- 連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。

※連結時キャビネットとすき間がある場合はライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

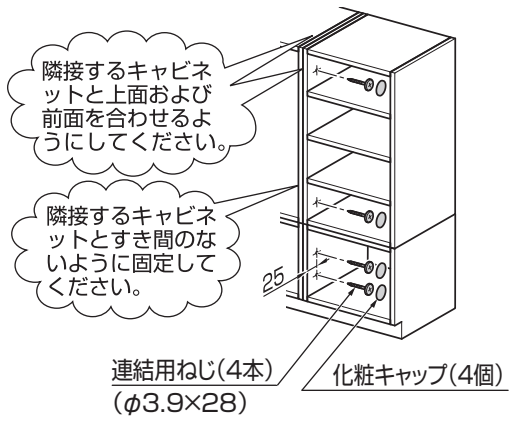
### 〈洗面化粧台と連結する場合〉

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじ(2本)でキャビネットを固定してください。




### 〈洗面化粧台以外と連結する場合〉

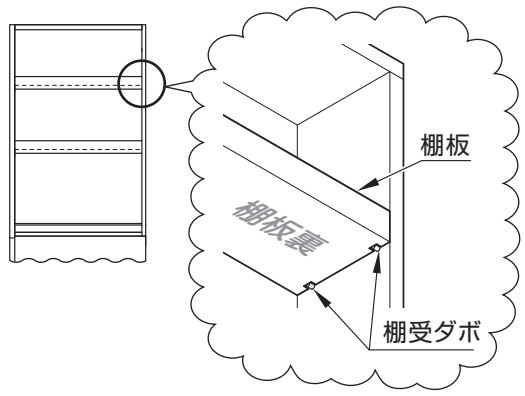
- キャビネットの内側より付属の連結用ねじ(4本)で隣接するキャビネットと固定してください。



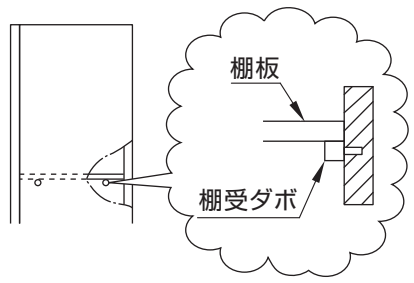

## 10 棚板の取り付け

- 棚受けダボを棚受けダボ用穴に差し込み棚板をのせてください。

〈150サイズの場合〉




〈250・300・450サイズの場合〉

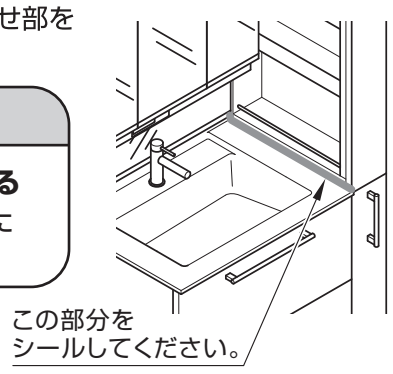



## 11 洗面化粧台とすき間処理

- カウンターとトールキャビネットの突き合わせ部をシリコーン系シール材でシールしてください。

**⚠ 注意**

必ず実行 **シリコーン系シール材を充てんする**
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。




# 7 ウォールキャビネットの取り付け(番号順に取り付けてください。)

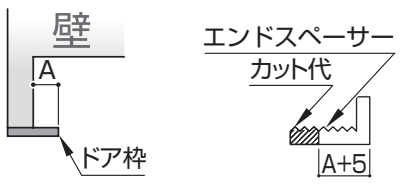
## 1 エンドスペーサーの取り付け(別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
  (トール用ウォールキャビネット用エンドスペーサー…LELA040GWT*D/G)
  (ウォールキャビネット用エンドスペーサー……LELA040GWN*D/G)

(1)寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大40mm対応可能です。
※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

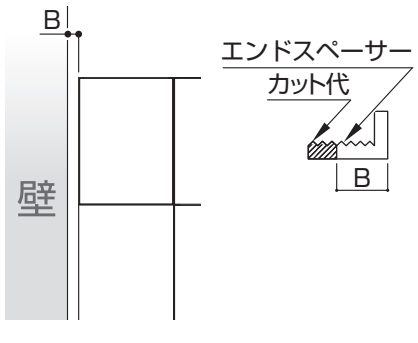
### 〈ドア枠がある場合〉

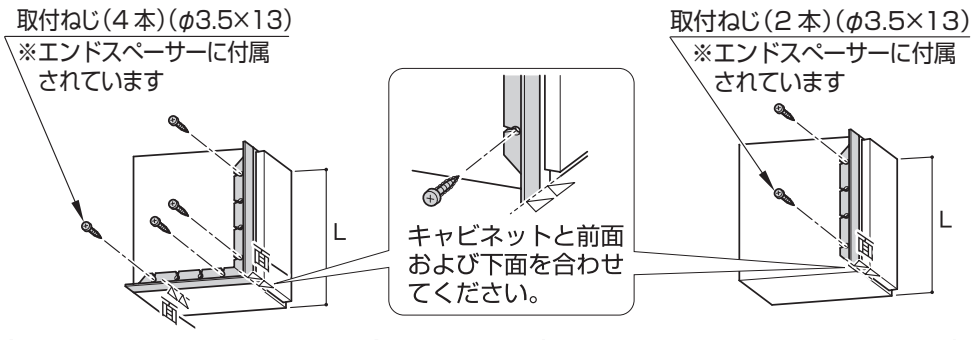
- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。




### 〈すき間がある場合〉

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮り置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮り置きしたキャビネットを取り外してください。




〈ウォールキャビネットの場合〉 〈トール用ウォールキャビネットの場合〉

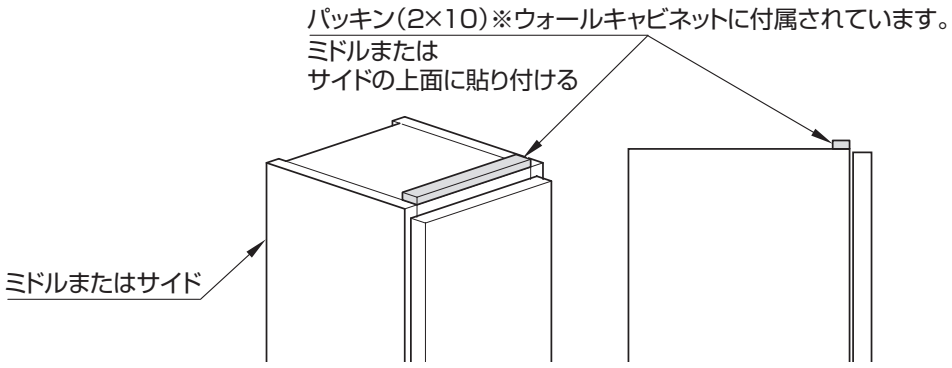
(2)キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
(3)けがき位置に下穴(φ2.5×5)をあけてください。
(4)エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。
その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
(5)エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

裏面に続く →

# 7) ウォールキャビネットの取り付け（つづき）

## 2 パッキンの取り付け

〈ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットまたはサイドキャビネットがある場合〉

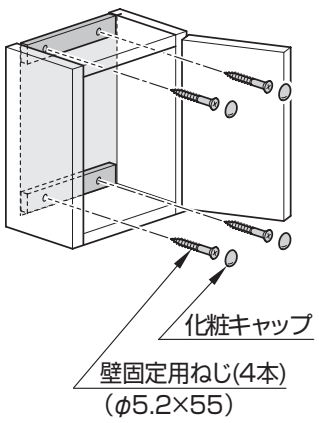



## 3 キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、ライナー ( 現場調達 ) を入れて垂直に固定してください。

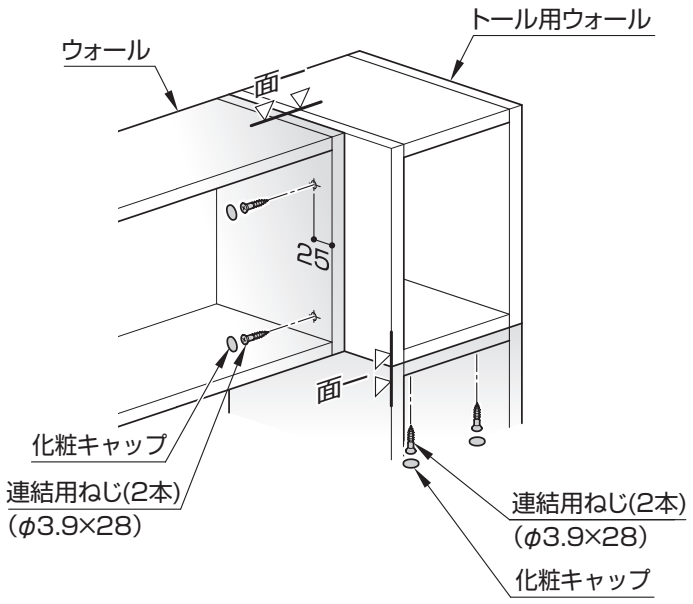
※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度：1000N以上 / 本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。（プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。）




## 4 キャビネットの連結

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。

※隣接するキャビネットと前面を面一にてすき間のないように固定してください。
※取付ねじで固定する時は、下穴を設けてください。




# 8) 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・前板の傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。

### ⚠ 注意

必ず実行

**扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う**

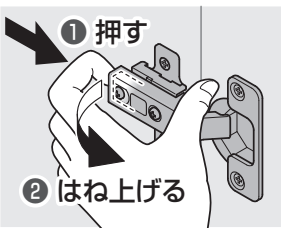
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

**重要**

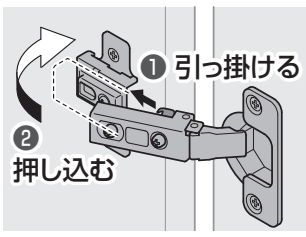
**扉取り付け後は、扉と扉の左・右・上・下のすき間が均等、扉表面が面一となる様に調整する**

## 1 開き扉

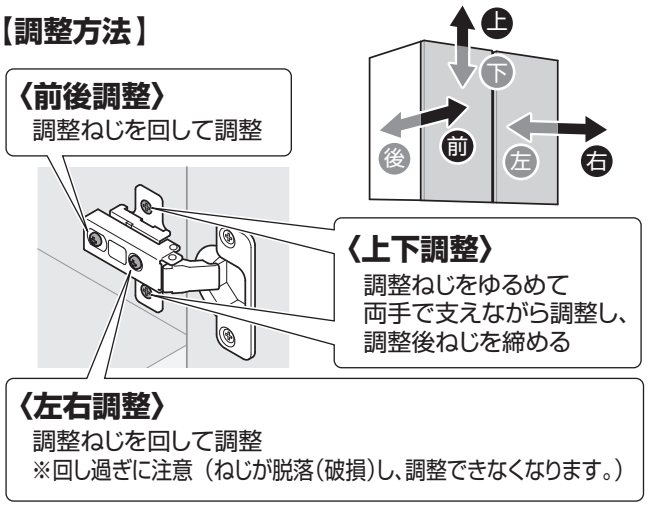
**【取り外し】**




**【取り付け】**

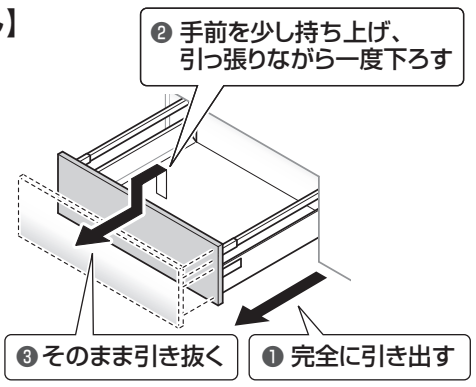



**【調整方法】**

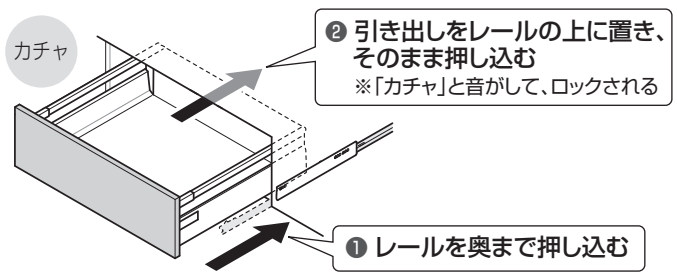



## 2 引き出し

**【取り外し】**




**【取り付け】**

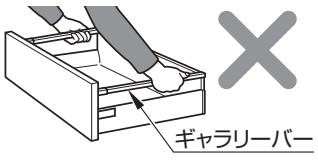



### ⚠ 注意

禁止

**ギャラリーバー部分を持たない**

ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

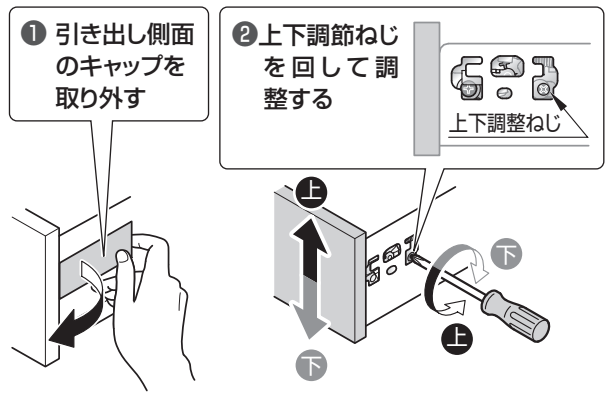



必ず実行

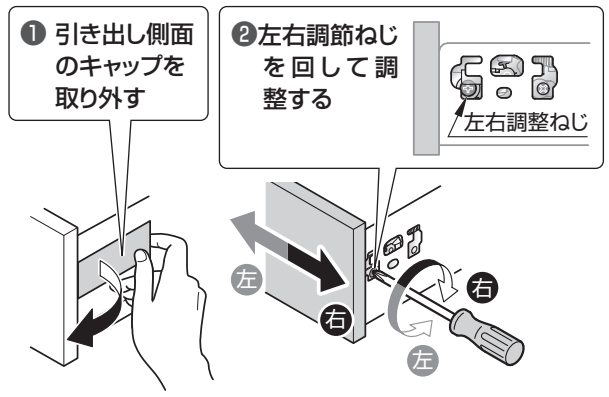
**引き出し取り付け後は必ず引き出しを2 ～ 3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押しても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する**

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

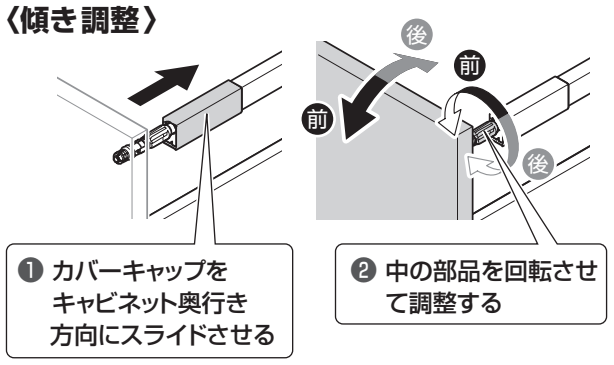
**〈上下調整〉**




**〈左右調整〉**




**〈傾き調整〉**



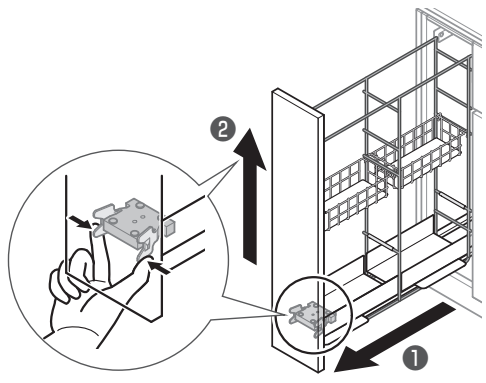
## 3 スライドラックタイプ

**【取り外し】**

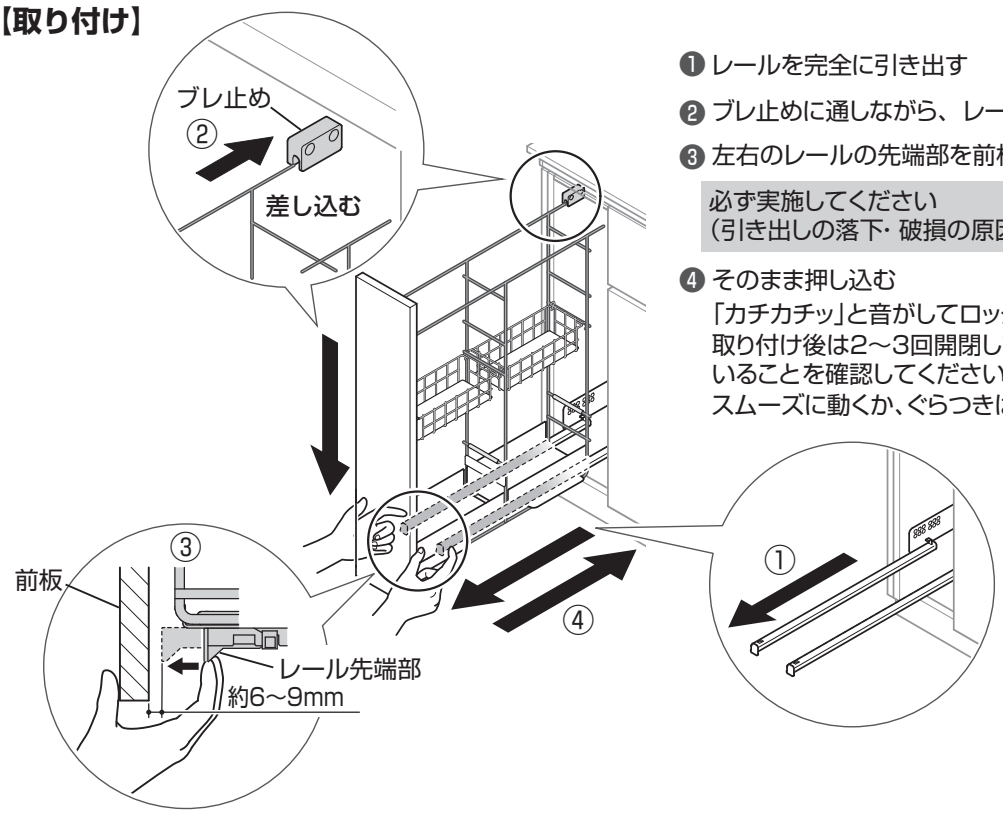
無理に外さないでください
（作動不良や破損の原因）

❶ 引き出しを完全に引き出す
❷ レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる

内側のトレーを外し、外側からレバーを操作することもできます。




**【取り付け】**

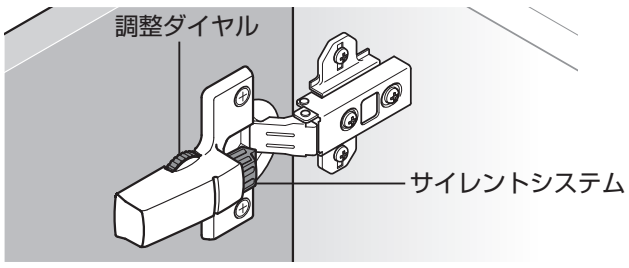



❶ レールを完全に引き出す
❷ ブレ止めに通しながら、レールに置く
❸ 左右のレールの先端部を前板側へ最後まで確実に引き寄せる

必ず実施してください
（引き出しの落下・破損の原因）

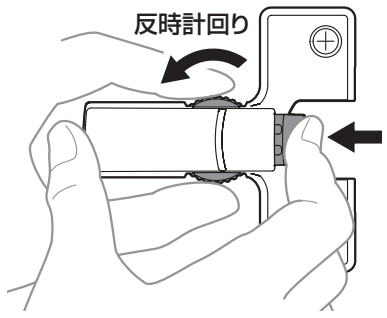
❹ そのまま押し込む
「カチカチッ」と音がしてロックされます。
取り付け後は2～3回開閉して、確実に取り付けられていることを確認してください。
スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。

**【扉を閉じるときのスピード調整のしかた】**
※上側の丁番のみ



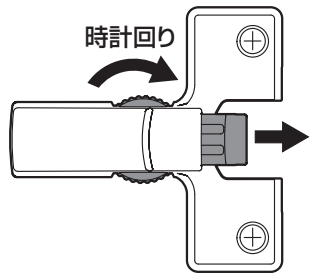

**〈速く閉める〉**

サイレントシステムを押しながら調整ダイヤルを反時計回りに回す
※サイレントシステムが縮みます。
※本図は左扉の調整方法を示します。
右扉でも回す方向は変わりません。




**〈遅く閉める〉**

サイレントシステムを押さずに調整ダイヤルを時計回りに回す
※サイレントシステムが伸びます。

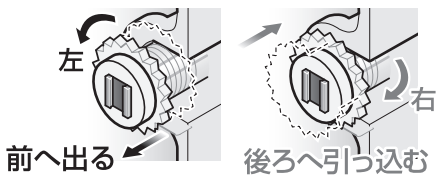


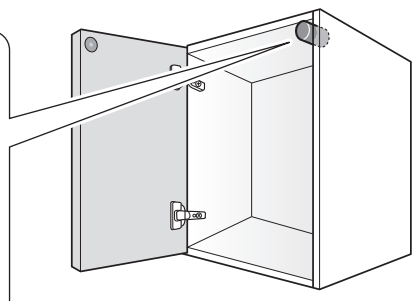

**⚠ 注意**

| | |
|---|---|
| 禁止 **電動ドライバー禁止** 部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。 | 必ず実行 **調整後、上下調整ねじをしっかり締め付けてゆるみのないことを確認する** 扉が落下してけがをするおそれがあります。 |

## 4 プッシュラッチの調整

〈前後のずれ〉
プッシュラッチを回して調整する。
※扉が開かない場合は、左へ回してください。



- 扉が開閉するか確認してください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。
- 商品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

**重要**
**※ 有機溶剤（シンナー・アセトンなど）の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。**

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。